

News Release

本ニュースリリースは、英国で 2016 年 6 月 2 日に配信された内容を翻訳したものです。

英国のトップ 92 クラブの収益総額は、史上初めて 40 億ポンドを上回り、設備投資は史上最高額を記録

- 英国のトップ 92 クラブの収益総額は、史上初となる 40 億ポンドを上回った
- 2014/15 シーズンの設備投資総額は 305 百万ポンドとなり、1 シーズン史上最高額を記録
- プレミアリーグクラブの収益総額は前シーズン比 3%増で史上最高となる 33 億ポンドを記録
- プレミアリーグクラブは、放映権収入の増加も影響し、営業利益ベースで 546 百万ポンド、税引き前利益ベースで 121 百万ポンドと、史上 2 番目の水準を記録
- プレミアリーグクラブの中で、17 クラブは営業利益ベースで史上最高水準を記録し、そのうち 14 クラブは税引き前利益ベースでも過去最高を記録
- プレミアリーグクラブの人件費は合計で 7%増加し、史上初めて 20 億ポンドを超過
- 欧州 5 大リーグの収益総額は、史上初の 120 億ユーロ(92 億ポンド)を記録
- 収益において 1 位のプレミアリーグは、2 位のブンデスリーガを 20 億ユーロ(15 億ポンド)上回った

英国の Deloitte スポーツビジネスグループが発行した Annual Review of Football Finance 第 25 版によると、2014/15 シーズンにおいて、プレミアリーグおよび下部リーグのトップ 92 クラブは、収益総額において史上初となる 40 億ポンド超を記録した。また、92 クラブの設備投資総額は 305 百万ポンドに到達し、1 シーズンでの投資額で史上最高額を記録した。

プレミアリーグクラブは、2013/14 シーズンから開始された放映権契約による好影響を引き続き享受し、史上初となる 33 億ポンドの収益を記録した。また、この放映権契約は、1999 年以来初となる 2 年連続での税引き前利益の黒字達成を後押しすることになった。

収益の緩やかな増加(前シーズン比 3%増)以上に人件費の増加率は大きいものの(前シーズン比 7%増)、2014/15 シーズンのプレミアリーグクラブの営業利益は史上 2 番目に大きく、2012/13 シーズン以前 5 年間の平均値と比較すると約 7 倍の金額となった。

Deloitte スポーツビジネスグループ、パートナーの Dan Jones は、“ここ 25 年間のサッカー界における成長ペースは驚くほどで、プレミアリーグの放映権収入は、来シーズン放映される 2 試合目のハーフタイム時点で、既に 25 年前の”ファーストディビジョン”全体の放映権収入を超えると見ている。プレミアリーグの各クラブが、その収入をスタジアムやインフラ周辺への投資に回そうとしていることは、頼もしいことだ”とコメントしている。

さらに Jones は、“プレミアリーグの放映権契約のインパクトは明確に出ている。プレミアリーグは、スポンサー収入、入場料収入、放映権収入の主要 3 部門において、史上初めて、世界のフットボールリーグのトップを走っており、安定的な利益を生み続けている。新放映権契約が開始される 2016/17 シーズンでは、プレミアリーグの営業利益は 10 億ポンドに到達するだろう”とコメントしている。

その他、2016年版のDeloitte Annual Review of Football Financeによる主要な分析結果は以下の通りである。

- 欧州5大リーグが収益総額で前シーズン比6%増の120億ユーロを記録した中で、プレミアリーグの収益は24億ユーロの収益を生み出したブンデスリーガより20億ユーロも多かった
- 2014/15シーズンで引き続き、プレミアリーグは欧州において最も利益を生み出すリーグであり、ブンデスリーガ、リーガ・エスパニョーラがそれに追随している。反対にイタリアのセリエAおよびフランスのリーグ1は営業損失を記録している
- プレミアリーグにおける、選手獲得のための総投資額は、11億ポンドで過去最高となった
- プレミアリーグの負債は引き続き24億ポンドであり、その負債はクラブオーナーからのソフトローン(貸出条件の緩いローン)が75%を占めている
- 2014/15シーズンにおいて、英国のトップ92クラブに対する政府の税収は約15億ポンドとなり、前年度の14億ポンドを上回った

プレミアリーグクラブの、収益における人件費の割合は増加したが、Jonesはこの事実を懸念事項と捉えていない。“人件費は収益よりも早いスピードで増加しており、その結果プレミアリーグの収益人件費率は58%から61%となった。しかし、この結果は、2004/05シーズン以来2番目に低い率であり、2012/13シーズンと比較すると10%低くなっている。実際、収益増加分に対する人件費増加分の割合は、2012/13シーズン以前5年間において99%であった一方で、直近2年間ではたったの30%である。”とコメントしている。

下部リーグであるチャンピオンシップリーグでは、2014/15シーズンにおいて、収益が12%増の548百万ポンドとなり、初めて500百万ポンドを超過した。収益人件費率は2013/14シーズンの106%から99%に減少したが、人件費は4%増の541百万ポンドとなり、クラブの収益のほぼ全てを人件費に費やしていることを示している。この事実は、オーナーの継続的な資本支援無しにはクラブを持続させることが不可能なレベルであり、その結果として225百万ポンドの営業損失および191百万ポンドの税引き前損失を計上している。

Deloitte スポーツビジネスグループ、シニアコンサルタントのAdam Bullによると、“トップリーグへの昇格は、プレミアリーグからのパラシュートペイメント*を受け取っていないクラブを除くと、少なくとも170百万ポンド以上の追加価値がある。そのことを考慮すると、プレミアリーグという約束された地に辿り着くことを願って、ピッチにベストのタレントを配置するためであれば何でもするという姿勢には驚かない”とコメントしている。

加えてBullは、“2014/15シーズンにおいて営業利益を報告したチャンピオンシップリーグクラブは無く、もし昇格が出来ないのであれば、チャンピオンシップリーグクラブは選手を売却することで利益を得るか、もしくはオーナー資本が必要となるであろうことを忘れてはいけない”とコメントしている。

*プレミアリーグでは、下部リーグ降格による経営状態の悪化から破産を防ぐ目的として、降格したチームに降格救済金(パラシュートペイメント)が与えられる。

デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー(DTFA)は国際的なビジネスプロフェッショナルのネットワークであるDeloitte(デロイト)のメンバーで、日本におけるデロイト トーマツ グループの一翼を担っています。DTFAはデロイトの一員として日本におけるファイナンシャルアドバイザーサービスを提供、デロイトおよびデロイト トーマツ グループで有する監査、税務、法務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザーの総合力と国際力を活かし、日本国内のみならず海外においても、M&Aや企業再編、ファイナンス、不正調査など企業の経営戦略の重要な局面で、ワンストップアプローチによりさまざまなニーズにお応えしています。

DTFAのスポーツビジネスグループは、デロイトグループのメンバーファームや英国のスポーツビジネスグループと連携し、財務会計、戦略、マーケティング・業務改革など、あらゆる分野のプロフェッショナルが、スポーツビジネス領域におけるグローバルでの豊富な知見を活かしながら、国内外の事業支援を行う体制を整えています。

<問い合わせ先>

■ 日本での問い合わせ

デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社
マーケティング

Tel: 03-6213-1180

Email: dtfa.koho@tohmatu.co.jp

■ 英国での問い合わせ

George Parrett / Kaylin Duckitt

Tel: 020 7007 7285 / 020 7007 2040

Email: gparrett@deloitte.co.uk / kduckitt@deloitte.co.uk

デロイト トーマツ グループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームおよびそのグループ法人(有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社、税理士法人トーマツおよびDT 弁護士法人を含む)の総称です。デロイト トーマツ グループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査、税務、法務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー等を提供しています。また、国内約 40 都市に約 8,700 名の専門家(公認会計士、税理士、弁護士、コンサルタントなど)を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト(www.deloitte.com/jp)をご覧ください。

Deloitte (デロイト)は、監査、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザーサービス、リスクマネジメント、税務およびこれらに関連するサービスを、さまざまな業種にわたる上場・非上場のクライアントに提供しています。全世界 150 を超える国・地域のメンバーファームのネットワークを通じ、デロイトは、高度に複合化されたビジネスに取り組むクライアントに向けて、深い洞察に基づき、世界最高水準の陣容をもって高品質なサービスを Fortune Global 500® の 8 割の企業に提供しています。“Making an impact that matters”を自らの使命とするデロイトの約 225,000 名の専門家については、[Facebook](#)、[LinkedIn](#)、[Twitter](#) もご覧ください。

Deloitte (デロイト)とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(“DTTL”)ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数指します。DTTL および各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL(または“Deloitte Global”)はクライアントへのサービス提供を行いません。DTTL およびそのメンバーファームについての詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。